

同窓会活動

年に1度開催される熊本大学ホームカミングデー。卒業後も熊大の「今」を知り応援し、懐かしい恩師や同級生のみならず学部間の垣根を超えた熊大卒業生とも交流しています。

熊本を離れても大丈夫。全国には7つの地域武夫原会があり、それぞれで活動を行っています。

同じ学び舎で学業を修めた幅広い世代、様々な業種について同窓生と交流できるなんて、なんと懐かしくもあり心強くもあり、そして刺激的なことでしょう。



ネットワーク作りの良い機会になっています！



ホームカミングデーにて“応援団演舞”

地域武夫原会

- ◆ 東京武夫原会
- ◆ 福岡武夫原会
- ◆ 名古屋武夫原会
- ◆ 熊本武夫原会
- ◆ 関西武夫原会
- ◆ 宮崎武夫原会
- ◆ 鹿児島武夫原会

武夫原会の紹介

武夫原会ホームページはこちら

<https://www.web-dousoukai.com/bufugen/>

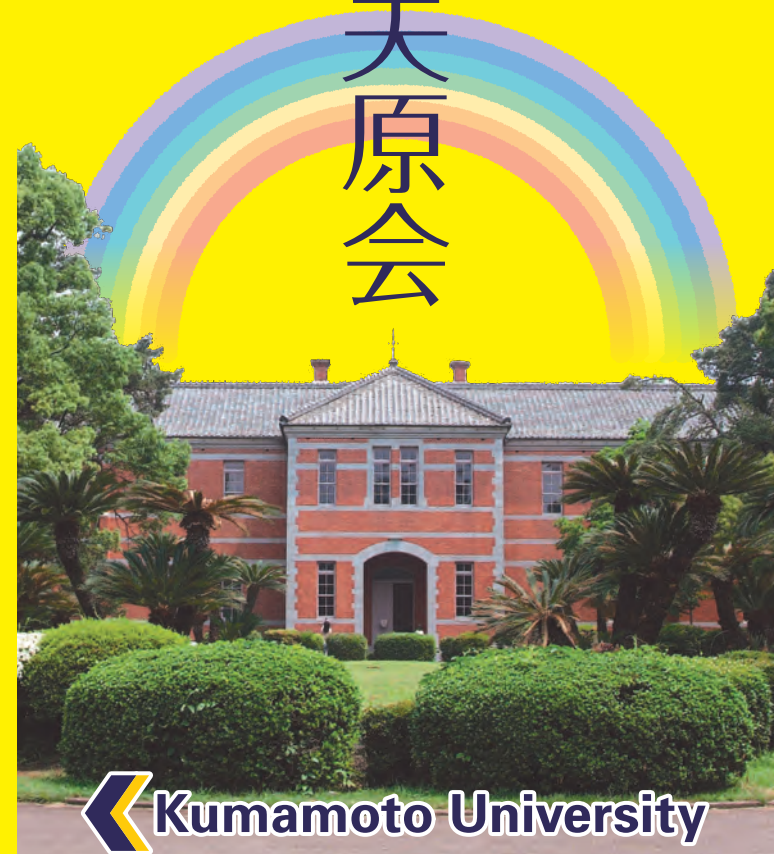
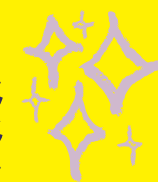


< 連絡先 >

武夫原会事務局

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40-1
熊本大学武夫原会事務局(文・法学部内)
TEL/FAX:096-342-2459

熊本大学武夫原会



会長ご挨拶

武夫原会は、文学部、法学部、大学院の同窓会で、全国約2万人の会員が各地で交流を行うとともに、このパンフレットにあるような各種事業で現役の学生会員の皆さんをサポートしています。



活動の詳細はウェブページで紹介していますが、学部棟2階の事務局(武夫原サロン)に係員が常駐していますから、先輩と交流したい時やご意見ご質問があれば気軽にお願いください。

同窓生のつながりは一生の宝物になります。現役時代も卒業してからも、武夫原会を通じて仲間同士の交流を深めてください。

熊本大学武夫原会会長
深町 公信

余談ですが

武夫原って何？



「ぶふげん」と読みます。旧制五高時代の寮歌「武夫原頭に草萌えて」に由来し、当時の練武場であったと思われます。今でも熊大グランドは「武夫原」と呼ばれ、学生や教職員に親しまれています。



武夫原サロン・武夫原会事務局
(文・法学部本館2F A-1講義室前)



会報誌バックナンバーも揃っています

在学生向け支援

●寄附講義

様々な業種に就かれている熊本大学文学部、法学部の同窓生の皆さんが講師となり、オムニバス形式でその業種の現状や将来社会人になったときに求められるものなどについて興味深い講義をしています。



【受講者の声】

- ① 自分はこういった価値観を大切にしているのか、また何がしたいのかじっくり考え、共感できる理念を持つ会社を探してみたいと思う。
- ② 大学卒業後の就職選択から定年後の働き方まで自分の行動や努力次第で様々な道があると感じた。私も多くの事に挑戦して自分の将来の選択肢を増やしていきたいと思う。

●チャレンジ支援事業

研究や社会貢献、自己研鑽など、自由な発想に基づく学生(文・法学部、社文教)の主体的・意欲的な取り組みを審査・選抜した上で経済的に支援するもので、1件につき原則上限30万円(年間3件程度)を補助します。少額のものあるいは30万円を若干超えるものでも受け付けます。

募集要項は、文・法学部、社文教の掲示板や武夫原サロンの入口ドアに、ポスターとともに掲示します。また、武夫原会ホームページ、文・法学部、社文教の電子掲示板でも告知します。詳しくは武夫原会事務局へ。

●学部支援



文・法学部本館前広場に設置したテーブル・ベンチセットの費用を支援しました。



文・法学部本館入口前に新たなシンボルツリー「コウヤマキ」を植樹しました。



社文教の学生が分かりやすいように、入口扉へ案内板を設置しました。



文・法学部本館正面玄関に設置した「平江図拓本」の作成費用を支援しました。

法学雑誌への法学部広告掲載費用を支援しました。

